

12/16  
(水)

## MBCと防災パートナーシップ協定 速く確実な防災情報発信

12月16日、町と株式会社南日本放送(MBC)は災害の被害を軽減するための防災情報発信や防災活動に取り組むことで、町民の安全確保に寄与するための防災パートナーシップ協定を結びました。

協定は、緊急時にMBCのテレビやラジオ、スマートフォンアプリを活用して町からの災害情報を発信できるようになることや町が開く防災研修会へMBCの講師を派遣できることなどが盛り込まれています。

同日行われた協定式で川添町長は「協定を結ぶ

ことで、町民の安全安心に寄与することに期待したい」とあいさつしました。



調印したMBCの有山貴史取締役(写真右)と川添町長

12/16  
(水)

## 社協が非接触式検温器寄贈 来庁者の検温に活用



役場庁舎に設置された非接触式検温器



町社会福祉協議会は12月16日、町に非接触式検温器1台を寄贈しました。

この機器は中央共同募金会からの新型コロナウイルス感染症の対策事業に関する共同募金配分金で購入されたもので、マスクや帽子などを着用したままでも検温ができます。

現在は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として役場庁舎入口に設置。来庁者の体温測定に活用されています。

12/19  
(土)

## 養殖ブリ出荷最盛期 家族で味わって

町内では、12月中旬から下旬にかけて正月用養殖ブリの出荷がピークを迎えました。

12月19日午前7時、本浦港沖の養殖いけすでは、養殖業者が脂の乗ったブリを次々と玉網ですくい船に揚げていました。跳ね回る5kg前後のブリを船上で生け締めし、漁港で重量を量って手際よく箱詰めしていきました。

この日、2,200匹を水揚げした田口良太さんは「コロナ禍なので、家庭でブリを食べて正月気分を味わってほしい」と額の汗をぬぐいました。



いけすからすくい揚げられた養殖ブリ